

青少年「平和と交流」支援事業（HIROSHIMA and PEACE） 報告会の実施について

参加者名 _____ : Saskia Raer
 派遣元加盟都市（国）： ハノーバー（ドイツ）

行事名	Cosplayer Treff Hannover、HIROSHIMA and PEACE の報告
実施日	2017 年 10 月 9 日
実施場所	Senioren Treff Herrenhausen
対象者 <small>(属性・年齢等)</small>	18 才から 30 才の青少年
参加者数	約 15 名
報告会の 概要等	<p>この報告会の参加者は、ハノーバー広島友好会の仲間やメンバーです。参加者におおよそのスケジュールを分かってもらい、広島、私が出会った人たち、私の経験した様々なすばらしい出来事の印象を伝えるために、短いビデオで私の旅を紹介することからこの報告会をスタートしました。次に、被爆者の方々のメッセージを紹介しました。というのも、このメッセージを通して、HIROSHIMA and PEACE の講座がなぜ存在するのか、また、私がこのようなプレゼンテーションをしようとしているのはなぜかを分かってもらえると思ったからです。続いてヒロシマとナガサキへの原子爆弾投下の歴史、その結果の一端について要約し、私が最も強い印象を受けた被爆者の方々の証言の一部についても話しました。さらに、（広島市とハノーバー市の青少年交流に尽力した）林壽彦氏のこと、そしてハノーバーの責任についても語り、最後に現在の原子力エネルギーと核兵器について話をし、プレゼンテーションを終了しました。</p> <p>プレゼンテーションの間、聞いている人たちは質問したり、話を付け加えることができました。私たちの報告会は少人数の集まりでしたので、プレゼンテーションの後、活発な議論をすることができました。参加者の多くにとって、それまで知らなかったことについての話し合いの場となりました。また、興味深い観点や視点からも議論がなされ、核エネルギー、核爆弾、ヒロシマや被爆者の方々のメッセージについての知識を深めるために、私たちがハノーバーでできることは何なのかということについても話し合いました。次回のハノーバーのお花見会で、被爆者の方々の経験を分かち合うために、証言を翻訳して印刷することにしました。このお花見会は、ヒロシマの原子爆弾の犠牲者を記念して植えられた 110 本の桜の木立の中で、これまでずっと催されてきたものです。</p>
その他 参考となる URL 等を記載のこ と。	残念ながら、私は写真を撮ったり、誰かにそれを頼むことを、しそびれてしまいました。近いうちに今回のような集まりをして、その時に写真を提供できればと思います。

※写真は別ファイルで添付してください。

(提出先) 平和首長会議事務局
 E-mail: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp